

# Performance in Fiscal 2017 従業員への取り組み

Action Plan



No.12

## EFFORTS TO EMPLOYEES



日本化薬グループは、KAYAKU spirit 実現の行動主体である従業員一人ひとりの人権を尊重し、ダイバーシティ&インクルージョン（良心の結合<sup>※1</sup>）を念頭に置いた人材マネジメントにより、「いい会社・強い会社になる<sup>※2</sup>」ことを目指しています。

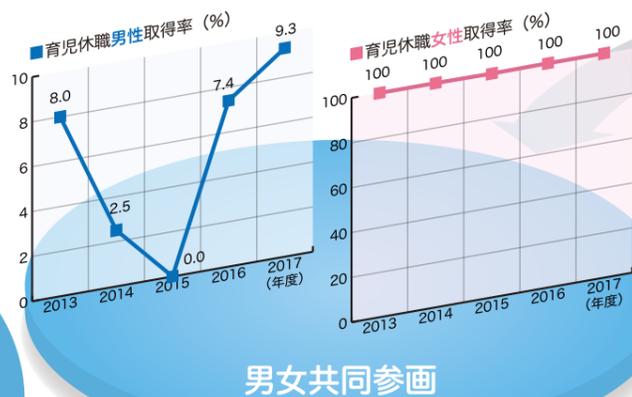
従業員全員が、個々の能力を最大限発揮し、やりがいをもっていきいきと働くことができる会社（いい会社）は、自らの成長と会社の継続的な発展（強い会社）を可能とします。その達成に向け、健康と安全に配慮した働きやすい職場環境づくりとともに、新たな付加価値創造に向けたさまざまな「働き方改革」にも取り組んでいます。

※1 良心の結合：P05 社是の言葉

※2 いい会社・強い会社になる：P10「アクションプラン」参照



育児休職取得率  
男性 9.3%  
女性 100%



男女共同参画

## グローバル交流

初めまして。私の名前はホルヘ モンテスです。私は、KSM<sup>※4</sup>の工場立上げに携わったのを皮切りに品質・製造についての継続的な改善活動を10年間行ってきました。そして、2017年6月にセイフティシステムズ事業本部品質保証本部が主導するグローバル品質プロジェクトメンバーの一員として日本化薬本社に着任しました。

プライベートでは、メキシコと日本では生活環境がまったく違う中で、家族とともに新しい世界に心を開き、日本語を習ったり、色々なものを見て回ったり、人の優しさに触られたことは何物にも代えがた

※4 KSM：Kayaku Safety Systems de Mexico, S.A. de C.V.メキシコにある自動車安全部品の製造会社

※5 全員D席で行こう：ドライバーズシート(D席)で主体的に行動すること

い経験となっています。しばしば「主食は何ですか？それは日本で買えますか？」と聞かれます。「トルティーヤが主食です。日本で買えます。」

最後に、私たちには日本化薬グループをより良くするチャンスが毎日あります。それぞれのポジションから「全員D席で行こう<sup>※5</sup>」をモットーに変化を起こしていきましょう。



セイフティシステムズ事業本部  
ホルヘ モンテス



ダイバーシティの推進

女性管理職比率 7.0%



ワーク・ライフ・バランス

有給取得率・日数  
59.2%  
11.0日



## 女性の活躍

私は、2012年にマレーシアに設立したKMY<sup>※3</sup>の最初の地元の従業員として働くことになり、2013年に姫路工場研修を受けました。

現在、私はKMYのマネジメントチームの唯一の女性で、人事管理部長です。部下は8人おり、メンバーとのコミュニケーションを大切にしています。そして、日本化薬グループのKAYAKU spiritを理解し、マレーシアの従業員へKAYAKU spiritの意味や仕事のやり方をしっかり啓発しています。また、マレーシアの女性従業員のモチベー

※3 KMY：Kayaku Safety Systems Malaysia Sdn. Bhd. マレーシアにある自動車安全部品の製造会社

ションを上げ、前向きに前進し、将来KMYのマレーシアでのビジネスを率先することを強く期待しています。

プライベートでは妻であり4人の子どもの母親でもあり、ワーク・ライフ・バランスをうまく取り入れ趣味の読書やジョギング・料理をして休日には家族と一緒に旅行に出かけます。



KMY 人事管理部長  
ラムラ モハマド ノール

## 育児休職を取得して

私は2度目の育児休職を取得し2017年7月に職場復帰をしました。現在は保育園の送迎のため育児時短勤務を利用して子どもたちの時間も大切にしながら無理なく働くことができています。

出産後は、仕事を続けられるのかと不安がありました。しかし約1年間の休職中には職場から会社の近況連絡などもあり、スムーズに職場復帰することができました。また、社内制度が充実しているので、夫も短期間の育児休職を取得することができ、育児の大変な時期を夫婦で共有できたことも非常に心強かったです。男性の育児休職も徐々に取得しやすい環境が整ってきていると感じています。子どもの体調不良等でお休みをいただくことがあり、職場の方々には大変申し訳なく思っていますが、いつも温かくフォローしていただき、

本当に感謝しています。

育児休職・復帰を経験して、制度の充実はもちろん、職場の方々のご理解やご支援、家族のサポートがあってこそ、毎日笑顔で仕事と育児を両立できているのだと改めて実感しています。これからも周りの方々に感謝の気持ちを忘れず、母として、社会人として成長していきたいと思っています。



(株)日本化薬福山 管理部 瀧本 宏美